

2024年9月11日

課題名：甲状腺手術における挿管性声帯麻痺に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、手術後の挿管性声帯麻痺についての発生率と危険因子を調べています。過去の研究では無症状の症例は見逃されている可能性があり、本研究では、無症状を含めた挿管性声帯麻痺の発生率を明らかにし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2010年4月から、2018年3月までの間に、甲状腺葉切除術を受けた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

研究対象者背景：年齢、性別、身長、体重、甲状腺疾患の既往

疾病情報：甲状腺疾患の病期、組織型、予後（再発・転帰）

麻酔情報：麻酔薬、麻酔時間、気管内挿管方法（挿管回数、チューブ種類、カフ圧）

手術情報：手術内容、手術時間

声帯麻痺情報：声帯麻痺の有無、予後

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2024年11月1日

◆研究方法◆

本研究は過去のカルテからの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

耳鼻咽喉科 研究責任者 藤原 崇志

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明